

施策評価シート

施策番号【3-2】

評価年度	令和5年度	事業実施年度	令和4年度	施策主管次長名	小野田 浩 司	
施策番号	3-2	施策名	交通事故や犯罪のないまちをつくらう		総合計画掲載頁	104~107
主担当部名	総務部					
関連課名	防災安全課、福祉課、産業振興課、道路河川課					

3 施策の評価

ANALYSE & CHECK(分析・評価)

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL (中間値と最終目標値の確認)

取組分野	交通安全	R5 中間値	R10 目標値
指標名	市内での人身交通事故件数		
指標の定義	1年間の市内での人身交通事故件数	250件以下	220件以下
取組分野	防犯	R5 中間値	R10 目標値
指標名	市内での犯罪発生件数		
指標の定義	1年間の市内での犯罪発生件数	490件以下	440件以下
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			

2 成果指標 DO & REPLAN (実績を計上し計画値を再設定)

指標	取組分野	交通安全	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	成果指標名	交通安全に係る教室や啓発活動などの実施回数	回	45	29	38	47	47
	対象	市内全市民	指標設定の考え方	市民の交通安全意識の高揚を図るため、交通安全に関する教室や啓発活動などを実施する。				
			把握方法	一般市民や子どもたちを対象として実施した交通安全に係る教室や啓発活動などの回数				

指標	取組分野	防犯	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
②	成果指標名	市内の防犯灯と防犯カメラの合計設置基(台)数	基(台)	2,543	2,651	2,668	2,719	2,798
	対象	防犯灯と防犯カメラ	指標設定の考え方	防犯対策を推進するため、市内に防犯灯や防犯カメラを設置する。				
			把握方法	市内に設置した防犯灯と防犯カメラの合計数				

指標	取組分野	防犯	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
③	成果指標名	防犯に係る教室や啓発活動などを実施した回数	回	19	4	8	20	21
	対象	市内全市民	指標設定の考え方	市民の防犯意識の高揚を図るため、防犯に関する教室や啓発活動などを実施する。				
			把握方法	一般市民や子どもたちを対象として実施した防犯に関する教室や啓発活動の回数				

指標	成果指標名	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	
④								
	対象		指標設定の考え方					
			把握方法					

指標	成果指標名	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	
⑤								
	対象		指標設定の考え方					
			把握方法					

施策の分析 (現状の確認と近隣調査)		
施策の現状	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全では、各世代への交通安全教室の開催や立哨活動、店頭啓発活動などを実施し、近年の市内での交通人身事故件数は減少傾向にある。 防犯では、地域の自主防犯パトロール隊活動や、防犯カメラの設置費補助事業などを実施し、近年の市内での犯罪認知件数は直近では増加したものの、長期的には減少傾向にある。 	
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」という考え方に立ち、家族ぐるみ、地域ぐるみで交通安全、防犯意識の高揚に努める。 行政や警察と連携して交通事故や犯罪のないまちづくりを進める。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故や犯罪について市民への情報提供、交通安全、防犯に関する教室や啓発活動を実施する。 自主防犯活動に対する支援を行い、「自助」、「共助」を推進する。 市民や警察と連携して交通事故や犯罪のないまちづくりを進める。
近隣市町との比較	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市町において、交通安全、防犯に関する事務事業を実施していない自治体はない。 	

施策の評価 (活動の振り返りと課題の明確化)	
令和3年度以前の活動	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全では、各世代への交通安全教室の開催や立哨活動、店頭啓発活動、歩行者保護モデルカー活動などを実施したほか、高齢ドライバーのアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故抑止を目的に「後付け安全運転支援装置設置費補助事業」を実施した。また、自転車乗車用ヘルメット購入補助事業を開始し、ヘルメット着用率の向上を図った。 防犯では、行政区への防犯カメラ設置費補助金の補助を行い、地域防犯力の向上に努めた。 緑丘小学校の防犯少年団が作成した防犯啓発イラストを使用した封筒を作成し、高齢者及び高齢者に係る業務を行う方に配布したほか、「安全安心キャラクターみよ獅子ちゃん」の着ぐるみを作成し、防犯啓発に活用した。
令和4年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全では、園児、児童への交通安全教室の開催や立哨活動、歩行者保護モデルカー活動、高齢者への交通安全啓発チラシの配布などを実施した。 横断者安全明示装置(びかっとなつたくん)を設置し、横断歩道での自動車の停止率の向上を図った。 防犯では、高齢者のための安全安心教室を開催し、特殊詐欺に対する防犯意識の向上を図った。 特殊詐欺対策機器購入等補助金を開始し、高齢者の犯罪被害抑止を図った。 家庭用防犯カメラ設置費補助金を開始し、地域の防犯力の向上を図った。
積み残し課題等	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全では、横断者安全明示装置(びかっとなつたくん)の認知度を上げるなど、横断歩道での自動車の停止率を向上させる必要がある。 防犯においては、特殊詐欺の巧妙化やふりこめ詐欺、キャッシュカード盗など、様々な手口の犯罪に対し、対応方法等の周知、啓発を行う必要がある 自転車盗件数が増加しつつあるため、市民による対策の意識向上を図るとともに、行政による対策を図る必要がある。

4 活動計画 ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和5年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に関しては、子供から高齢者まで全ての世代の交通安全意識を高めるため、各世代での歩行者、運転者などの立場に合わせた啓発等を展開していく。 防犯に関しては、市民や地域、警察、行政が連携し一体となって活動し、人やカメラによる見守りなどへの支援を行い犯罪の抑止を図るとともに、多発している犯罪の情報提供や、防止策などの周知、その他防犯に係る啓発活動を行うことで、市民の防犯意識の向上を図っていく。
施策目標達成に向けての令和5年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者までの全世代の交通安全、防犯に対して意識が高揚するよう、啓発活動を引き続き実施していく。 交通安全では、「自転車乗車用ヘルメット購入費補助事業」によるハード面の充実、「歩行者保護モデルカー活動」や交通安全教室等によるソフト面の充実を継続して実施していく。 横断歩道での自動車の停車率を向上させるため、横断者安全明示装置の設置を行う。 高齢者を対象とした特殊詐欺を未然に防ぐため、対策機器を設置するための支援を引き続き行う。 防犯効果を高めるため、個人の防犯カメラ設置に対する費用補助を引き続き行い、防犯カメラ設置台数を増加させる。 警察と連携し、自転車盗防止に対する市民の意識向上を図っていくとともに、防犯カメラによる発生抑止を図る。